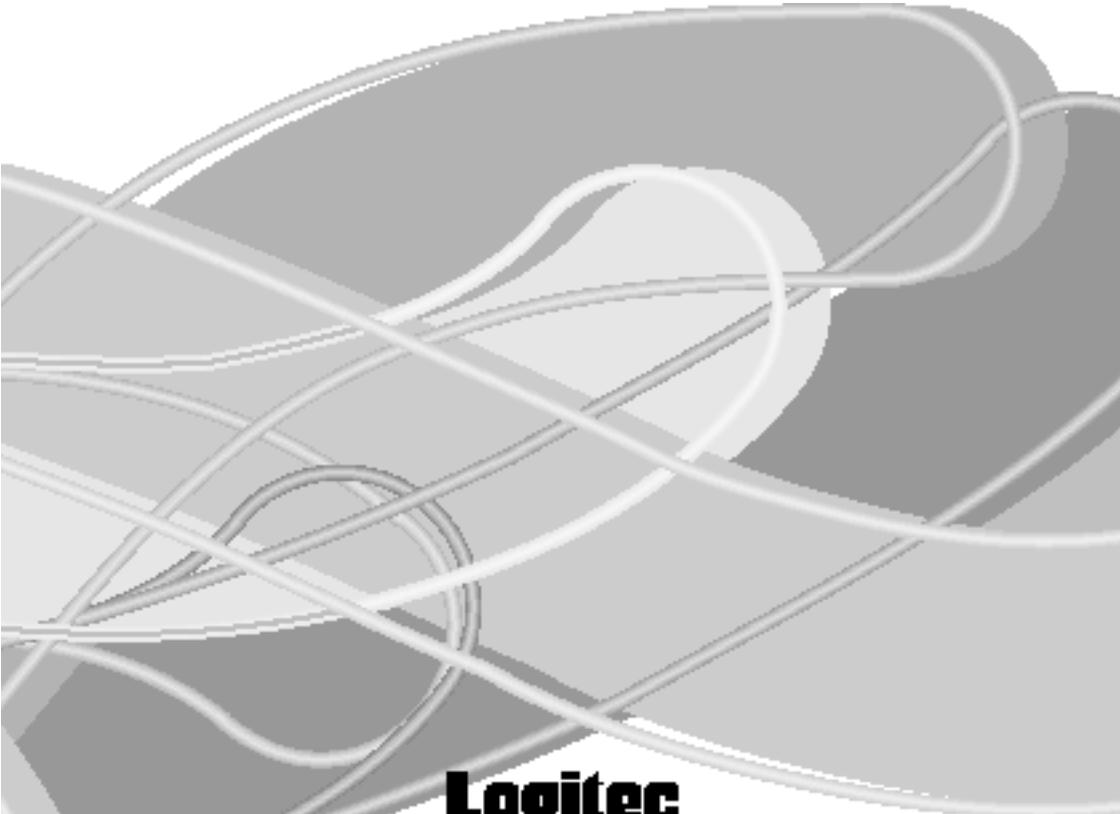


LVC-MPEG2/P V01

PCI TV TUNER & VIDEO CAPTURE BOARD

TV&ビデオキャプチャボード・ ユーザーズマニュアル

LVC-MPEG2/P



Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	3
ご注意	3
付属品の確認	4
第 1 章 製品のご紹介	5
1 . 1 製品の概要	5
1 . 2 各部の機能と名称	7
第 2 章 使用可能な状態になるまで	8
2 . 1 本製品の接続	8
2 . 2 ケーブル類の接続	10
2 . 3 ドライバのインストール	15
2 . 3 . 1 Windows XP の場合	15
2 . 3 . 2 Windows Me の場合	18
2 . 3 . 3 Windows 98 Second Edition の場合	19
2 . 3 . 4 Windows 2000 の場合	22
2 . 4 接続/インストール結果の確認	25
2 . 5 付属ソフトウェアのインストール	26
第 3 章 「Logitech キャプチャコントローラ」機能と使用方法	27
3 . 1 機能について	27
3 . 2 操作パネルの名称と機能について	28
3 . 3 「Logitech キャプチャコントローラ」の使用方法	30
第 4 章 補足事項	35
4 . 1 トラブルシューティング	35
4 . 2 MPEG エンコード設定表	37
ハードウェア仕様	39

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解しないでください。内部にはレーザー光を使用している部分があります。レーザー光を直視すると視覚に重大な傷害を与えます。



注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



感電注意



高温注意



ケガに注意

金メッキ部分には触れないで下さい。

本製品の金メッキ部分はパソコンと直接接続されます。接続不良を防止するため、直接手で触れないで下さい。



その他の
禁止事項

静電対策をしてください。

本製品およびパソコン本体には、静電気に弱い部品が使用されています。静電気のためやすいカーペットの上などに置かないでください。

また、接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分にふれて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。接続時、不要な部分には手を触れないでください。



その他の
強制事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

付属品の確認

TV&ビデオキャプチャボード	1 枚
RCAピンケーブル	1 本
S-Videoケーブル	1 本
コネクタ変換ケーブル	1 本
オーディオケーブル	1 本
ソフトウェア CD-ROM	1 枚
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
TV&ビデオキャプチャボード・ ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用
ください。

*MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Intel[®]およびPentium[®]は米国 Intel Corporationの商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

第 1 章 製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品はテレビチューナー搭載のハードウェア MPEG エンコーダーボードです。MPEG1/2 ファイル形式でテレビやビデオ映像を簡単にパソコンに取り込むことができます。

本製品の特徴

StreamMachine 製ハードウェア MPEG エンコーダチップを搭載しているので、付属のソフトウェア「Logitech キャプチャコントローラ」を使用して、外部ビデオ機器やテレビチューナーからの映像をリアルタイムで取りこみ、DVD ビデオ用の MPEG2 ファイルを作成することができます。弊社製書き込み型 DVD ドライブ製品と組み合わせることにより、好みの映像を DVD ビデオにすることができます。

DVD オーサリング / ライティングソフト用の MPEG データ作成の際はソフト毎に最適な設定を設けているので、細かい設定値を考えることなく簡単に MPEG ファイルが作成できます。

ステレオ / 音声多重放送対応 TV チューナー搭載により、高品質でのテレビ録画ができます。

ビデオ出力機能を搭載していますので、本製品で保存した MPEG ファイルをテレビモニタ上で鑑賞したり、ビデオテープに保存することができます。

接続可能なパソコン

本製品は以下のパソコン本体に装着して使用することができます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

動作環境

- ・ Pentium 以上の CPU を搭載
- ・ PCI Rev 2.1 以降
- ・ 128MB 以上のメモリを搭載
- ・ 解像度 800 × 600 ドットハイカラー (16bit) 以上に対応しているグラフィック環境



ご注意

- ・ 本製品は LowProfile PCI には対応していません。
 - ・ できるだけ高速の CPU 環境での使用を推奨します。ただし、全ての環境での完全な動作を保証するものではありません。
 - ・ インテル社製以外のチップセットは動作保証外とさせていただきます。
 - ・ 既にキャプチャボードが内蔵・接続されている機種は動作対象外とさせていただきます。
 - ・ 本製品で作成した MPEG2 ファイルを DVD ビデオへ書き込む際は、書き込み型 DVD ドライブおよびドライブ添付ソフトの使用環境上の注意事項を合わせてご確認ください。
-

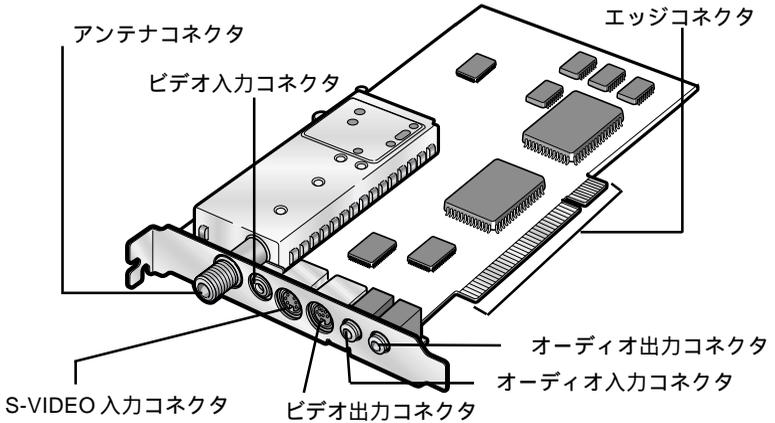
使用可能な OS

本製品は以下の OS で使用することができます。(いずれも日本語バージョンに限ります。また、パソコン本体がサポートしていない OS では使用することができません。)

マイクロソフト株式会社	Windows XP Home Edition/Professional
	Windows Me
	Windows 98 Second Edition (*1)
	Windows 2000 Professional

*1 Second Edition でない Windows 98 では本製品を使用することはできません。

1.2 各部の機能と名称



アンテナコネクタ

市販のアンテナケーブルで、屋外アンテナのアンテナ端子や室内アンテナに接続します。

ビデオ入力コネクタ

ビデオデッキなどを入力ソースにする場合、付属の RCA ビンケーブルでビデオデッキの映像出力に接続します。

S-VIDEO 入力コネクタ

ビデオデッキなどを入力ソースにする場合、付属の S-Video ケーブルでビデオデッキの映像出力に接続します。

ビデオ出力コネクタ

本製品で作成した MPEG ファイルを、テレビモニタ上へ出力したり、ビデオテープに保存する際、付属の S-Video ケーブルか、コネクタ変換ケーブルを使用してテレビモニタ / ビデオデッキの映像入力に接続します。

オーディオ出力コネクタ

MPEG ファイルや TV 画像の音声スピーカーから出力されるように、付属のオーディオケーブルでサウンドカードの「Line In」端子に接続します。

外部機器に出力する場合は付属のケーブルを外し、外部機器のコネクタ形状に合わせた市販のオーディオケーブルで外部機器の音声入力に接続します。

オーディオ入力コネクタ

ビデオデッキなどを入力ソースにする場合、市販のオーディオケーブルでビデオデッキの音声出力に接続します。

エッジコネクタ

パソコン本体の拡張スロット (端子部) に直接接続される部分です。接触不良などを防止するため、この部分には直接手を触れないで下さい。

第2章 使用可能な状態になるまで

本製品を実際に使用可能な状態にするには、以下の作業を順番に行わなくてはなりません。本章では、下に記した手順を順を追って説明しますので、説明に従い接続/インストールを行ってください。

- 1, 本製品をパソコン内部のPCIスロットに装着する
- 2, 必要なケーブル類をつなぐ
- 3, 本製品を使用するために必要なドライバとソフトウェアをインストールする

2.1 本製品の接続

2



ご注意

- ・接続の前に、必ずパソコン本体と周辺機器の電源を切り、パソコン本体の電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・本製品の接続中に内部ショートが発生すると、突然電源が入ってしまう危険性があります。感電などを防止するため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

Point

ポイント

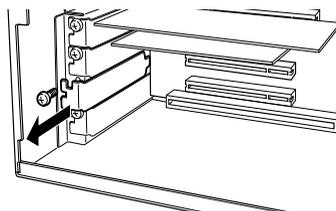
パソコン本体のカバーの取り外し方法や、PCIスロット(PCIバス対応スロット)の場所については、お使いのパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。ここに示す説明図は一例です。

パソコン本体の電源を切り、電源コードをコンセントから外してください。

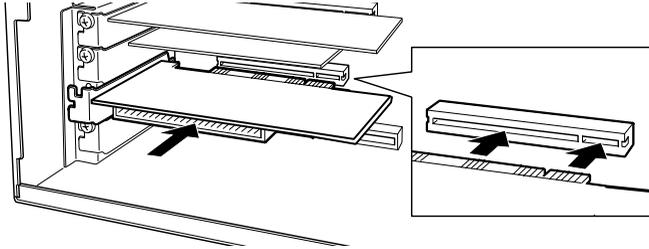
パソコン本体のカバーを取り外します。

使用する(空いている)PCIスロットの場所を確認します。

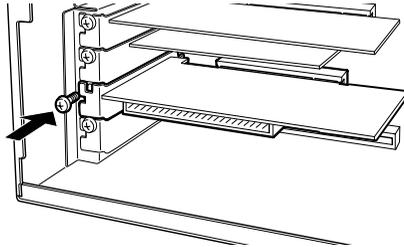
PCIスロットカバー(金具)を固定しているネジを外し、カバーを取り外します。



本製品のエッジコネクタをPCIスロットの端子部に合わせ、マザーボードに対して垂直になるように、しっかりと押し込みます。



手順 2 で外したネジで、本製品の金具をパソコン本体のフレームに固定します。



パソコン本体のカバーを元に戻します。

以上で本製品の接続は終了です。続いてケーブル類の接続を行いますので2.2節へお進み下さい。

2 . 2 ケーブル類の接続

本製品をパソコンのPCIスロットに接続したら、次にケーブル類を接続します。接続するケーブルは用途によって異なります。

アンテナケーブル

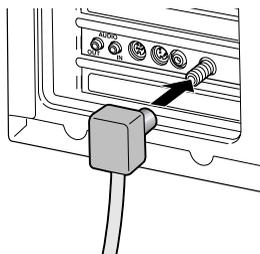
TV映像が鮮明に表示されるよう、本製品とアンテナ（屋外アンテナにつながるアンテナ端子、または室内アンテナ）を、アンテナケーブル（75 同軸ケーブル）で接続します。



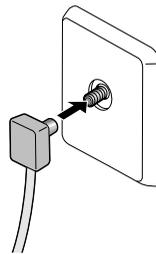
ご注意

アンテナケーブルは本製品には付属していません。市販のケーブルをご用意ください。本製品のアンテナコネクタは「75 F型コネクタ」を採用しています。アンテナ側のコネクタについては、アンテナ端子等の形状に合わせたものをご用意ください。

本製品側



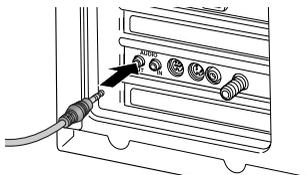
アンテナ端子側（例）



オーディオケーブル（AUDIO OUT 側）

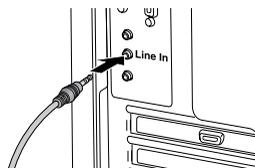
TVやビデオの音声スピーカーから出力されるよう、付属のオーディオケーブルを、本製品のオーディオ出力コネクタと、パソコン本体のサウンドカード上にある「Line In」端子に接続します。

本製品側



オーディオ出力コネクタへ

サウンドカード側



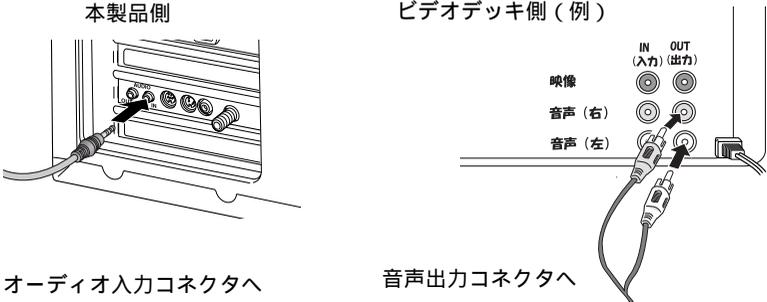
Line In 端子へ

オーディオケーブル

(AUDIO IN側：外部映像機器から映像を取りこむ場合)

本製品にビデオデッキなどを接続して映像を取りこむ場合、音声の入力にはオーディオケーブルが別途必要です。

接続には、このオーディオケーブルを使用して本製品のオーディオ入力コネクタと外部機器側の音声出力コネクタをつないでください。



オーディオ入力コネクタへ

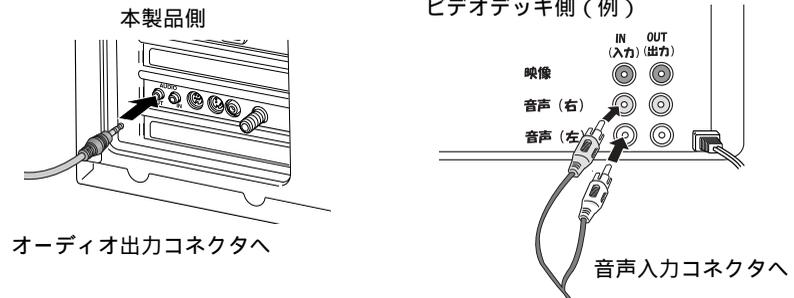
音声出力コネクタへ

オーディオケーブル

(AUDIO OUT側：外部映像機器へ映像を出力する)

本製品にビデオデッキなどを接続して映像を出力する場合も、音声の出力にはオーディオケーブルが別途必要です。

接続には、このオーディオケーブルを使用して本製品のオーディオ出力コネクタと外部機器側の音声入力コネクタをつないでください。



オーディオ出力コネクタへ

音声入力コネクタへ

Point

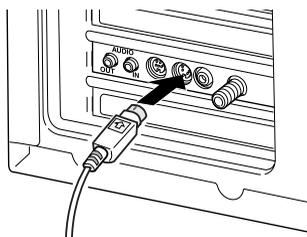
ポイント

外部機器へ接続するオーディオケーブルは、片側（本製品側）がステレオミニジャックになっていて、もう片方（ビデオデッキもしくはテレビモニター側）がRCAピン×2になっているものをご用意ください。（ビデオデッキ側のコネクタは通常RCAピンですが、異なる場合は形状に合わせたものをご用意ください。）

S-Video ケーブル (外部映像機器から映像を取りこむ場合)

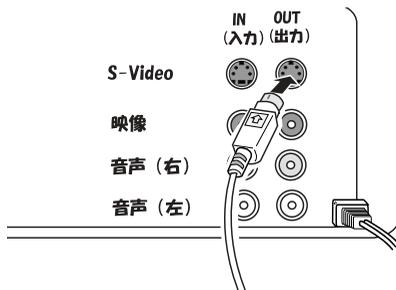
本製品にS-Video端子付きのビデオデッキを接続する場合は、映像の入力には付属のS-Videoケーブルを使用して本製品側のS-Video入力コネクタと、ビデオデッキ側のS-Video出力コネクタを接続します。

本製品側



S-Video 入力コネクタへ

ビデオデッキ側 (例)

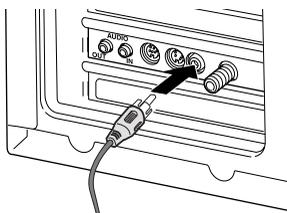


S-Video 出力コネクタへ

RCA ピンケーブル (外部映像機器から映像を取りこむ場合)

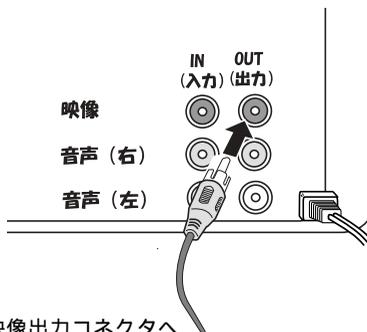
本製品にS-Video端子のないビデオデッキを接続する場合は、映像の入力には付属のRCAケーブルを使用して本製品のビデオ入力コネクタと、ビデオデッキ側の映像出力コネクタを接続します。

本製品側



ビデオ入力コネクタへ

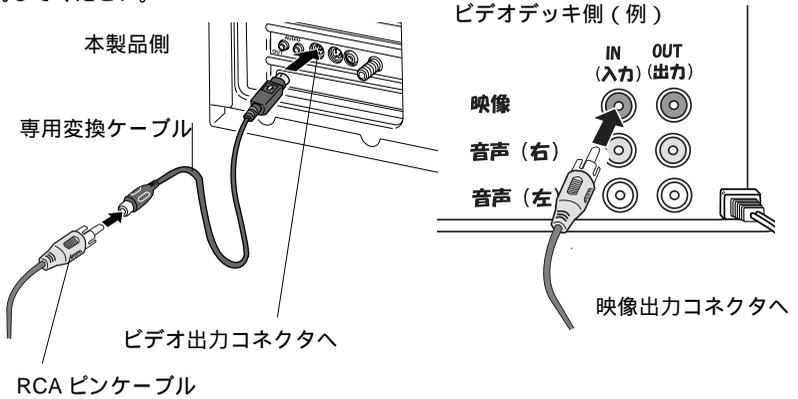
ビデオデッキ側 (例)



映像出力コネクタへ

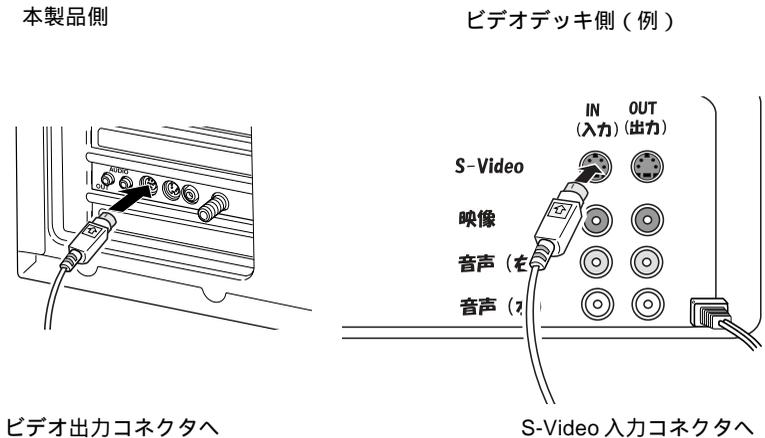
コネクタ変換ケーブル（外部映像機器へ出力する場合）

本製品で保存した MPEG ファイルを S-Video 端子のないビデオデッキなどの外部映像機器へ出力する場合は、付属のコネクタ変換ケーブルのミニ Din 6 ピン側を本製品のビデオ出力コネクタへ接続し、変換ケーブルの RCA ピンジャック（メス）側に、本製品付属の RCA ピンケーブルを接続し、ビデオデッキ側の映像出力コネクタと接続してください。



S-Video ケーブル（外部映像機器へ出力する場合）

本製品で保存した MPEG ファイルを S-Video 端子の付きのビデオデッキなどの外部映像機器へ出力する場合は、付属の S-Video ケーブルを使用して本製品側のビデオ出力コネクタと、ビデオデッキ側の S-Video 入力コネクタを接続します。



まとめ

使用目的ごとに必要となる接続方法は以下の通りです。

外部機器から映像を取りこむ場合

S-Video 端子あり

(本製品コネクタ 必要なケーブル 外部機器コネクタ)

映像：S-Video 入力コネクタ	S-Video ケーブル(付属品)	ビデオデッキ(映像出力)
音声：オーディオ入力コネクタ	オーディオケーブル(市販品)	ビデオデッキ(音声出力)
オーディオ出力コネクタ	オーディオケーブル(付属品)	パソコンの「Line in」端子

S-Video 端子なし

(本製品コネクタ 必要なケーブル 外部機器コネクタ)

映像：ビデオ入力コネクタ	RCA ピンケーブル(付属品)	ビデオデッキ(映像出力)
音声：オーディオ入力コネクタ	オーディオケーブル(市販品)	ビデオデッキ(音声出力)
オーディオ出力コネクタ	オーディオケーブル(付属品)	パソコンの「Line in」端子

外部機器へ映像を出力する場合

S-Video 端子あり

(本製品コネクタ 必要なケーブル 外部機器コネクタ)

映像：ビデオ出力コネクタ	S-Video ケーブル(付属品)	ビデオデッキ(映像入力)
音声：オーディオ出力コネクタ	オーディオケーブル(市販品)	ビデオデッキ(音声入力)

S-Video 端子なし

(本製品コネクタ 必要なケーブル 外部機器コネクタ)

映像：ビデオ出力コネクタ	RCA ピンケーブル(付属品)	ビデオデッキ(映像入力)
音声：オーディオ出力コネクタ	オーディオケーブル(市販品)	ビデオデッキ(音声入力)

テレビを見る(録画する)場合

(本製品コネクタ 必要なケーブル 外部コネクタ)

映像：アンテナコネクタ	アンテナケーブル	アンテナ端子
音声：オーディオ出力コネクタ	オーディオケーブル(付属品)	パソコンの「Line in」端子

2.3 ドライバのインストール

ドライバのインストール方法はOS毎に異なります。ここではOS別にインストール方法を説明いたしますので、ご使用のOSに該当する箇所をご参照の上インストール作業を行ってください。

Windows XP	2.3.1 へお進み下さい
Windows Me	2.3.2 へお進み下さい
Windows 98 Second Edition	2.3.3 へお進み下さい
Windows 2000	2.3.4 へお進み下さい

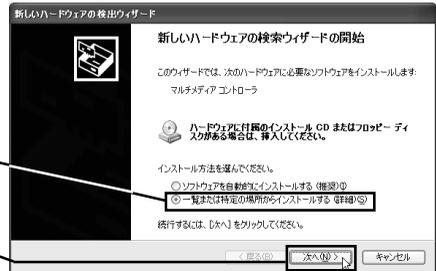
2.3.1 Windows® XP の場合

本製品をパソコンに接続し必要なケーブル類を接続し終わったら、パソコン本体の電源をONにしてWindows XPのシステムを起動し、コンピュータの管理者権限を持つユーザー（「コンピュータの管理者」等）としてログオンしてください。

システムの起動中に本製品がプラグ&プレイで認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」のウィンドウが表示されます。

1. 「一覧または特定の場所からインストール...」のラジオボタンを「ON ()」の状態にして、

2. 「次へ」ボタンをクリック

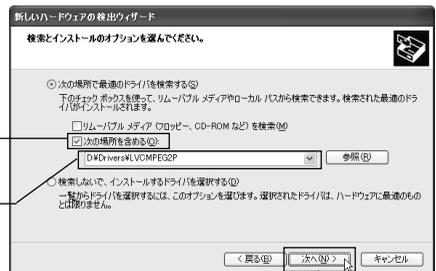


下のウィンドウが表示されますので、本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

1. 「次の場所を含める」のチェックボックスにチェック「レ」を入れて、

2. ここに以下のように入力して、

Q:¥Drivers¥LVCMPPEG2P



3. 「次へ」をクリック



ご注意

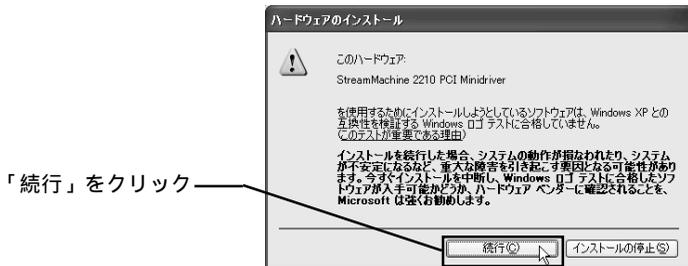
CD-ROMの自動実行機能が有効になっていると、CD-ROMをドライブにセットしたときに「セットアップランチャー」が起動してしまいます。この手順ではセットアップランチャーは使用しませんので、「閉じる」ボタンをクリックしてセットアップランチャーを終了させてください。



ポイント

- ・手順 の2. で示される「Q:」はCD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのドライブ名です。ドライブ名は環境により異なりますので、異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。
- ・ドライバがフロッピーディスクで提供されている場合は、ここでドライバの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、手順 の2の入力スペースに、「A:¥」と入力してください。
(この場合の「A:」はFDドライブのドライブ名です。パソコンに内蔵されているFDドライブは通常ドライブ名に「A:」を割り当てられています。外付けのFDドライブや、増設したFDドライブから本製品のドライバを読み込む場合にはドライブ名が異なります。異なる場合には正しいドライブ名を入力してください。)

下のウィンドウが表示されます。そのまま「続行」をクリックしてください。(表示されない場合は手順 へおすすみください。)



参考

本製品のドライバはCD-ROM収録時点ではWindows ログテストを受けていないので上のメッセージが表示されますが、弊社では本ドライバがWindows XP上で動作することを十分に確認して提供しております。そのままインストールをしてご使用ください。

必要なファイルがシステムに転送され、転送が終了すると下のウィンドウが表示されます。



以上でドライバのインストールは終了です。次に本製品が正しく接続/インストールされたかの確認を行いますので「2.4 接続/インストール結果の確認」へお進み下さい。

2.3.2 Windows® Me の場合

本製品をパソコンに接続に必要なケーブル類を接続し終わったら、パソコン本体の電源を ON にして Windows Me のシステムを起動してください。

システムの起動中に本製品がプラグ & プレイで認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。下のウィンドウが表示されたら本製品付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

「適切なドライバを自動的に...」のラジオボタンを「ON ()」にしてください。



2



ご注意

CD-ROM の自動実行機能が有効になっていると、自動的にドライバの検索が開始されますので手順へお進み下さい。しばらく待っても何も起こらない場合は、「次へ」をクリックしてください。



ポイント

ドライバがフロッピーディスクで提供されている場合は、ここでドライバの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしてください。

必要なファイルがシステムに転送され、転送が終了すると下のウィンドウが表示されます。



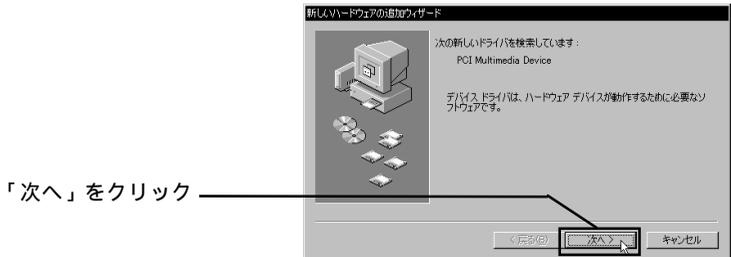
「完了」をクリック

以上でドライバのインストールは終了です。次に本製品が正しく接続/インストールされたかの確認を行いますので「2.4 接続/インストール結果の確認」へお進み下さい。

2 . 3 . 3 Windows® 98 Second Edition の場合

本製品をパソコンに接続し必要なケーブル類を接続し終わったら、パソコン本体の電源を ON にして Windows 98 Second Edition のシステムを起動してください。

システムの起動中に本製品がプラグ&プレイで認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し下のウィンドウが表示されます。



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに最適な...」のラジオボタンを「ON ()」にして
2. 「次へ」をクリック



下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

- 1 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態で、

- 2 .ここに以下のように入力して、

Q:¥Drivers¥LVCMPPEG2P

- 3 .「次へ」をクリック





ご注意

CD-ROMの自動実行機能が有効になっていると、CD-ROMをドライブにセットしたときに「セットアップランチャー」が起動してしまいます。この手順ではセットアップランチャーは使用しませんので、「閉じる」ボタンをクリックしてセットアップランチャーを終了させてください。



ポイント

- ・手順 の2. で示される「Q:」はCD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのドライブ名です。ドライブ名は環境により異なりますので、異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。
- ・ドライバがフロッピーディスクで提供されている場合は、ここでドライバの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、手順 の2の入力スペースに、「A:¥」と入力してください。
(この場合の「A:」はFDドライブのドライブ名です。パソコンに内蔵されているFDドライブは通常ドライブ名に「A:」を割り当てられていますが、外付けのFDドライブや、増設したFDドライブから本製品のドライバを読み込む場合にはドライブ名が異なります。異なる場合には正しいドライブ名を入力してください。)

「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」の下に「StreamMachine 2210 PCI Minidriver」と表示されます。

1. このドライバ名を確認して

2. 「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送されます。転送中に以下のメッセージが表示されます。(このメッセージが表示されない場合は手順 へお進み下さい。)

1. 「Windows 98 Second Edition」のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、

2. OKをクリック



転送終了後、下のウィンドウが表示されます。



以上でドライバのインストールは終了です。次に本製品が正しく接続 / インストールされたかの確認を行いますので「2.4 接続 / インストール結果の確認」へお進み下さい。

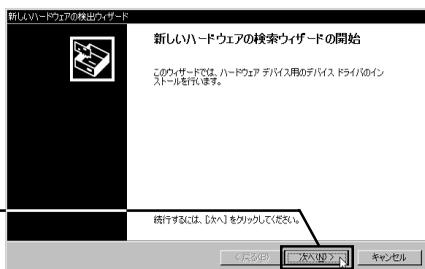
2.3.4 Windows® 2000 の場合

本製品をパソコンに接続し必要なケーブル類を接続し終わったら、パソコン本体の電源をONにしてWindows 2000のシステムを起動し、コンピュータの管理者権限を持つユーザー（例えば「Administrator」等）としてログオンしてください。

システムの起動中に本製品がプラグ&プレイで認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」のウィンドウが表示されます。

2

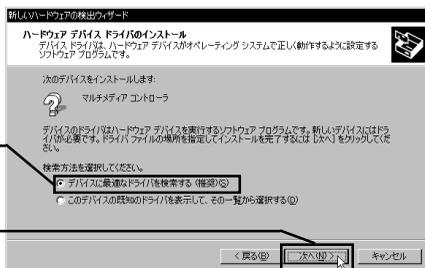
「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「デバイスに最適な...」のラジオボタンを「ON ()」にして、

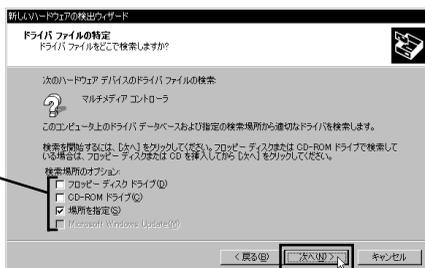
2. 「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「場所を指定」だけがチェックされた状態で

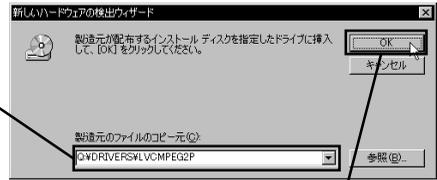
2. 「次へ」をクリック



下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

1. ここに以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥LVCMPG2P



2. 「OK」をクリック



ご注意

CD-ROMの自動実行機能が有効になっていると、CD-ROMをドライブにセットしたときに「セットアップランチャー」が起動してしまいます。この手順ではセットアップランチャーは使用しませんので、「閉じる」ボタンをクリックしてセットアップランチャーを終了させてください。



ポイント

- ・手順 の1で示される「Q:」はCD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのドライブ名です。ドライブ名は環境により異なりますので、異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。
- ・ドライバがフロッピーディスクで提供されている場合は、ここでドライバの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、手順 の2の入力スペースに、「A:¥」と入力してください。
(この場合の「A:」はFDドライブのドライブ名です。パソコンに内蔵されているFDドライブは通常ドライブ名に「A:」を割り当てられていますが、外付けのFDドライブや、増設したFDドライブから本製品のドライバを読み込む場合にはドライブ名が異なります。異なる場合には正しいドライブ名を入力してください。)

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



2.3 ドライバのインストール

下のウィンドウが表示されます。(このメッセージが表示されない場合は手順へお進み下さい。)

「はい」をクリック



2

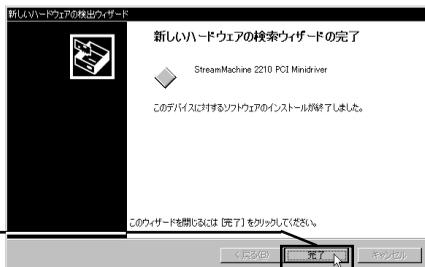


参考

本製品用のドライバは「Microsoft デジタル署名」を取得しておりませんので、上記ウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000 上で正常に動作することを確認して提供しています。

必要なファイルがシステムに転送され、転送が終了すると下のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上でドライバのインストールは終了です。次に本製品が正しく接続/インストールされたかの確認を行いますので「2.4 接続/インストール結果の確認」へお進み下さい。

2.4 接続/インストール結果の確認

ここでは、前節までに行った接続、インストール作業がうまくいったかどうかをデバイスマネージャを使用して確認します。デバイスマネージャは以下の方法で表示させます。

Windows ME, 98 の場合は、「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP, 2000 の場合は、「コントロールパネル」（「パフォーマンスとメンテナンス」Windows XP のみ）「システム」「ハードウェア」タブ「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

デバイスマネージャが表示されたら、以下の項目があることを確認します。

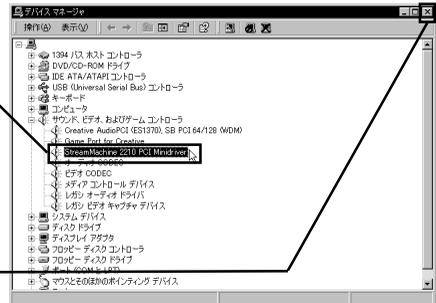
「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ」(または、ゲームのコントローラ) をダブルクリックして開き、

「StreamMachine 2210 PCI Minidriver」が表示されることを確認します。

Windows 2000 での例

1. この項目を確認

2. 確認が終了したら
クローズボックスを
クリック



このデバイスが表示されたら本製品は正常に接続・認識されています。続いて本製品付属の CD-ROM から「Logitech キャプチャコントローラ」をインストールしますので 2.5 節へお進み下さい。表示されない場合や、「！」マークや「x」マークが表示される場合は「4.1 トラブルシューティング」をご参照ください。



参考

上の図は Windows 2000 での例ですが、デバイスマネージャに表示されるデバイス名は Windows XP, Me, 98 Second Edition とともに同じです。ただし、アイコンは異なりますので、確認の際は、デバイス名で行ってください。

2.5 付属ソフトウェアのインストール

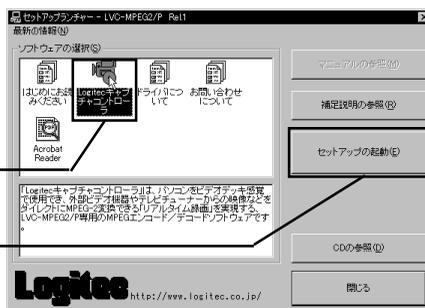
接続とドライバのインストールが終了したら付属のソフトウェア「Logitech キャプチャコントローラ」を以下を参照してインストールします。

パソコン本体の電源を ON にして Windows のシステムを起動します。ご使用のパソコンが Windows XP, 2000 の場合はシステム起動後、コンピュータの管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」など）としてログオンしてください。

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして下さい。自動的にセットアップランチャーが起動して以下の画面が表示されます。

1. 「Logitech キャプチャコントローラ」を 1 回クリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」ボタンをクリックします。



後は、Logitech キャプチャコントローラ用の Install Shield ウィザードが起動しますので画面の指示に従ってインストールしてください。

以上でソフトウェアのインストールは終了です。これで本製品を使用できるようになりました。次に「Logitech キャプチャコントローラ」の使用方法や機能について説明いたしますので第 3 章へお進み下さい。



参考

セットアップランチャーが自動起動しない場合は「スタート」ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示されるウィンドウの「名前」の所に以下のように入力して、「OK」ボタンを押してください。

Q:¥Start.exe

ここで「Q:」は CD-ROM をセットした CD-ROM ドライブのドライブ名です。ドライブ名は環境により異なりますので、異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

第3章

「Logitech キャプチャコントローラ」 機能と使用方法

本章では付属ソフトウェア「Logitech キャプチャコントローラ」の機能と使用方法についての概要をご説明します。詳しい操作・設定方法につきましては付属CD-ROMのマニュアルをご参照ください。

3.1 機能について

パソコンをビデオデッキ感覚で...

「Logitech キャプチャコントローラ」は、外部ビデオ機器やテレビチューナーからの映像などをダイレクトにMPEG2変換できる「リアルタイム録画」を実現するソフトです。またデコード機能により、MPEGデータをテレビやビデオデッキ等に出力することができます。

プレビュー画面

(外部AV機器、TVチューナーからの入力映像、および再生するMPEG映像を表示します。)



主な機能

ビデオコンテンツの再生と入力モード

- TV (地上波放送)
- VTR / ビデオカメラ (アナログ信号)



操作パネル

(このパネルを使用して各種の操作を行います。)

録画機能

リアルタイム及び高解像度のMPEG1およびMPEG2圧縮ビデオ録画をサポートしています。

録画予約ウィザードを使うことによって、予約録画の設定が可能です。録画時間の制限と利用できるディスクドライブに関する情報を提供します。

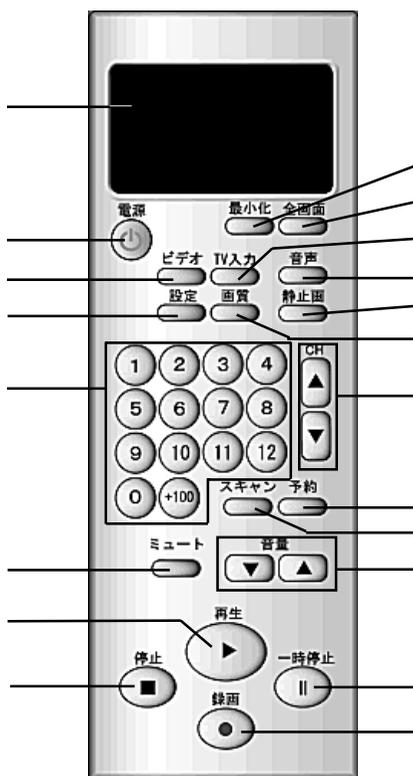
再生機能

- MPEG2、MPEG1を再生可能です。
- 外部AV機器への出力が可能です。

TV表示機能

TV放送またはビデオファイルから静止画キャプチャ機能を使用して静止画像を保存することができます。

3 . 2 操作パネルの名称と機能について



情報ウィンドウ

現在の入力ソースや、録画時間やTVチャンネル番号、現在の時刻等が表示されます。

電源

Logitech キャプチャコントローラを終了します。

ビデオ

ビデオ入力ソースを選択します(コンポジット(ビデオ) Sビデオ)。

設定

保存する MPEG データの詳細を設定します。

最小化

Logitech キャプチャコントローラを最小化します。

全画面

プレビュー画面をフルスクリーン化します。

TV入力

TV放送の受信形態を選択します。(アンテナ ケーブル)

音声

音声多重放送受信時、切替を行います(ステレオ 副音声
主/副音声 主音声)。

静止画

TV鑑賞中、ワンショットで静止画をキャプチャします。

画質

映像の色合い等の調整を行います。

チャンネル(アップ・ダウン)

昇順・降順にチャンネルを切り替えます。

予約(録画予約)

録画予約ウィザードを起動して、録画予約設定を行います。

スキャン(オートスキャン)

受信可能なテレビチャンネルの検索を行います。

音量

ボタンを使用して音量を調節します。

ダイレクトチャンネル

表示したいチャンネルの番号を入力して、ダイレクトにチャンネルを
選択します。

ミュート

音声出力を無効にします。

再生

動画の再生を開始します。

停止

再生中の動画を停止します。録画中は録画を停止します。

一時停止

再生中の動画を一時停止します。(外部出力再生時は機能しません。)

録画

録画を開始します。

3 . 3 「Logitech キャプチャコントローラ」の使用方法

起動と終了

「Logitech キャプチャコントローラ」を起動させるにはWindowsの「スタート」「Logitech キャプチャコントローラ」または、「スタート」「プログラム」「Logitech キャプチャコントローラ」「Logitech キャプチャコントローラ」をクリックします。



電源ボタンを押すと終了します。

TVチャンネルの登録・削除

「Logitech キャプチャコントローラ」起動後、「スキャン」ボタンをクリックしてください。使用できるTVチャンネル一覧を作成します。

登録されているチャンネルを削除するには、削除したいチャンネルを表示して、キーボードの[Delete]キーを押してください。



ご注意

本製品はTVチャンネル設定がアンテナに設定されて出荷されています。CATVをご利用の方は、「スキャン」をする前に「TV入力」ボタンで受信形態を「アンテナ」から「ケーブル」へ切り替えておいてください。

静止画を保存する

プレビューウィンドウに映像が表示されている状態で「静止画」ボタンを押します。

「ビットマップ登録」ウィンドウが表示されますので、画像を選択して以下の処理を行います。

項目	説明
保存	320×240ドットのビットマップ形式で保存します。
壁紙	選択した画像をWindowsの壁紙に登録します。
削除	画像を削除します。

録画する

お手持ちのビデオデッキやカメラ（ビデオ出力端子を搭載しているもの）およびテレビ番組の映像をハードディスクに録画することができます。

Logitech キャプチャコントローラの起動時は、テレビアンテナからの映像入力となっていますので、ビデオ / Sビデオ端子から映像を取り込む場合は「ビデオ」ボタンを押して、入力ソース「ビデオ」「Sビデオ」を切り替えてください。ケーブルテレビからの入力は「TV入力」ボタンを押してください。

「設定」ボタンを押して、「MPEGパラメータ」タブをクリックします。MPEGエンコードの設定を行います。（設定項目については「4.2 MPEGエンコード設定表」をご参照ください。）

プレビューウィンドウに録画したい映像が映っていることを確認して、「録画」ボタンを押します。

録画が開始されます。（録画を停止したい時は「停止」ボタンを押します。）

「名前を付けて保存」のウィンドウが表示されますので、保存先 / ファイル名を指定して「保存」ボタンを押します。



ご注意

- ・ハードディスクの残り容量が100MB以下になったときは自動的に録画を終了します。
- ・録画ファイルサイズが4GBを超えた時は自動的に録画を終了します。

録画時間を指定する

録画する時間を設定したい場合に録画時間(時:分:秒)を入力します。

「設定」ボタンを押してください。

「タイマー / ファイルの保存先 / AV分割」タブをクリックしてください。

「タイマーを使用」にチェックをします。

「時間」「分」「秒」の各項目に数字を入力します。

「OK」ボタンを押します。

録画ファイル保存先 / ファイル名を指定する

録画ファイルの保存ディスク / フォルダ / ファイル名を指定します。

「設定」ボタンを押します。

「タイマー / ファイルの保存先 / AV 分割」タブをクリックします。

「独自のファイル名を使用」にチェックをして、「参照」ボタンを押します。

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されますので、保存先 / ファイル名を指定して「保存」ボタンを押します。

「OK」ボタンを押します。

予約録画する

指定した時間からテレビ番組等を録画します。

「予約」ボタンを押します。

「録画予約ウィザード」ウィンドウが表示されますので、「予約」ボタンを押します。

「新規予約追加」ウィンドウが表示されますので、以下の項目を設定します。

項目		説明
ビデオ設定	映像ソース	映像の入力ソースを選択します。
チャンネル設定	チャンネル	録画するテレビチャンネルを入力します。
	アンテナ / ケーブル	地上波 / ケーブルを選択します。
日時設定	日付	録画する日付を入力します。
	時間	録画を開始する時間を入力します。
録画時間	時間 / 分	録画時間を入力します。
番組名		番組名を入力します。

上記設定が完了したら、「次へ」ボタンを押します。

エンコード設定を行って、「完了」ボタンをクリックします。

予約指定した時間になると録画を開始します。



ご注意

予約指定された時間に Windows が起動していないと、録画は行われません。

ハードディスクの空き容量 / 録画可能時間を確認する

ハードディスクの空き容量から、現在選択されているエンコード設定でどれくらいの時間録画が可能かを確認します。

「設定」ボタンを押します。

「ディスク情報」タブをクリックします。

リストボックスでハードディスクを指定すると録画可能時間が表示されます。

確認を終えたら「OK」ボタンを押します。



参考：1時間の映像をキャプチャしたときのおおよそのファイル容量

キャプチャファイルの容量は、MPEG形式/ビットレートの設定により異なります。また可変ビットレート(VBR)を使用すると、映像の複雑さによってファイル容量が異なります。以下は設定値毎のおおよそのファイル容量の目安です。

設定		ファイル容量
MPEG形式	ビットレート	
MPEG2	8Mbps(CBR)	約3.6GB
MPEG2	5Mbps(CBR)	約2.3GB
MPEG2	4Mbps(CBR)	約1.8GB
MPEG2	2Mbps(CBR)	約900MB
MPEG1	1.15Mbps	約650MB

本製品での最大キャプチャサイズは4GBです。

MPEG ファイルを再生する

保存してある MPEG ファイルを再生することができます。再生は以下の2通りの方法で行うことができます。

- 「PCで再生」 Logitech キャプチャコントローラ上で再生します。
- 「外部出力」 テレビモニターやビデオデッキなど、外部AV機器に映像を出力します。

再生方法の設定

- 「設定」ボタンを押します。
- 「タイマー/ファイルの保存先/AV分割」タブをクリックします。
- 「再生」オプションの「PCで再生」または「外部出力」を選択します。
- 「OK」ボタンを押します。

再生方法

- 「再生」ボタンを押します。
- 「ファイルを開く」ウィンドウが表示されますので、再生したいMPEGファイルを指定して「開く」ボタンを押します。
- MPEG ファイルの再生が始まります。
- 「一時停止」ボタンで再生を一時中断、「停止」ボタンで再生を中止します。

Point

ポイント

- ・「外部出力」時には「一時停止」は機能しません。
- ・「巻戻し」「早送り」機能は、近日弊社 Web サイトにてアップデートを公開予定です。

ロジテックホームページ <http://www.logitech.co.jp/>

音声多重放送の入力音声を切り替える

テレビ番組の音声多重放送の音声切替を行います。

- 「音声」ボタンを押します。
- ボタンを1回押すごとに音声切り替わります。

項目	説明
ステレオ	主音声（ステレオ）を出力します。
副音声	副音声を出力します。
主/副音声	主音声/副音声を同時に出力します。
主音声	主音声（モノラル）を出力します。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

動作が不安定になる。

パソコンの電源を切り、本製品を他のPCIバススロットに取り付けてみてください。

本製品は他のキャプチャボード、キャプチャユニット、ソフトウェアエンコーダと同時に使用できません。

該当するハードウェアが接続されている場合は取り除いてください。

ソフトウェアエンコーダはアンインストールを行ってください。

画面が正常に表示されない。

まず、Windowsのコントロールパネルのシステムのアイコンをクリックし「デバイスマネージャー」のタブで、「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ」をクリックして以下のデバイスが正常に組み込まれているか確認して下さい。

- StreamMachine 2210 PCI Minidriver

表示されない場合、または「！」マークや「×」マークが表示されている場合には、ドライバが正常に動作していません。その場合は該当する項目を削除して、再度インストールを行ってください。

デバイスが正常に組み込まれている場合は、グラフィックボードなどの表示が関係していることが考えられます。

- コントロールパネルから、「画面」を開いて「設定」のタブで「画面の領域」と「色」を一段階下げてみて下さい。
- グラフィックボードのドライバーを最新版に更新してください。
- 「スタート」「プログラム」「Logitechキャプチャコントローラ」「TVモード設定」で、表示モードを変更してください。

あるチャンネルだけ正常に表示されない。

まず、Logitec キャプチャコントローラの「スキャン」ボタンをクリックして、オートスキャンを行ってみてください。
この場合基本的に、あるチャンネルだけ表示されない場合は電波状態が良くないことに原因がある場合が多いです。アンテナケーブルや接続部分も確認してみてください。また、地域によって有料チャンネルやケーブルテレビなどでの固有の電波信号（スクランブル）などにより正常に表示できない場合もあります。

可変ビットレート（VBR）のMPEG エンコード設定で録画した映像が荒れる。

可変ビットレート（VBR）は、画像が複雑な時には高ビットレート、逆に簡単な映像では少ないビットレートを与えることで、一定の画質のまま全体のデータ量を抑えることができます。しかしTV番組など急激に画像が切り替わる場合、「いつ難しい映像になるか」をリアルタイムに予測することはほぼ不可能であり、急激にビットレートを増やさなければならない局面に追従できず、映像が荒れることがあります。
映像の荒れが激しいようでしたら固定ビットレート（CBR）でエンコードを行ってみてください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

4.2 MPEG エンコード設定表

本製品を使用してビデオやカメラ、テレビ番組などを録画する際、録画するデータをMPEG形式に変換する必要があります。ここでは狭義に、これをエンコードと呼びます。

録画したいデータの画質や容量、更には録画したいメディアに適した形式などを、エンコード設定を行うことにより指定することができます。

録画の際、下の表を参考にして、エンコードの設定を行ってください。

設定	説明	
DVDオーサリングソフト用		
WinCDR7.0 UltimateDVD (Aplix)	DVD (高画質)	704 × 480、CBR、9Mbps
	DVD (中画質)	704 × 480、CBR、5Mbps
MyDVD (Sonic Solutions)	DVD (高画質)	704 × 480、CBR、8Mbps
	DVD (中画質)	704 × 480、CBR、5Mbps
プロファイル		
DVD (高画質) - VBR 8Mbps		704 × 480、VBR、8Mbps
DVD (中画質) - VBR 4Mbps		704 × 480、VBR、4Mbps
SVCD - 2.6Mbps		480 × 480、2.6Mbps
ビデオCD - 1.15Mbps		MPEG1、352 × 240、1.15Mbps
MPEG2 (最高ビットレート) - 15Mbps		704 × 480、CBR、15Mbps
MPEG2 (高ビットレート) - 10Mbps		704 × 480、CBR、10Mbps
MPEG2 (中ビットレート) - 5Mbps		704 × 480、CBR、5Mbps

「拡張設定」ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。(次ページ参照)

[拡張設定]

設定		説明
ビデオサイズ	704×480ドット	MPEG2 Full-D1 (DVDビデオ用)
	480×480ドット	MPEG2 (SVCD用)
	352×480ドット	MPEG2 Half-D1
	352×240ドット	MPEG1 (ビデオCD用)
MPEG形式	MPEG1	MPEG1形式で保存します。(352×240のみ)
	MPEG2	MPEG2形式で保存します。
レートコントロール	CBR	固定ビットレートでエンコードします。
	VBR	可変ビットレートでエンコードします。(MPEG2のみ) 場面転換時などの動きの激しい映像の場合、映像品質が荒れる場合があります。
ビデオ	ビットレート	CBR: 2~15Mbps、VBR: 2~10Mbpsの範囲内で設定します。 値が大きいほど画質が良くなりますが、ファイル容量は大きくなります。
	I/Pフレーム間隔	フレーム間隔を指定します。(「1」~「3」) この数値を変更することにより、圧縮率が変化します。通常は「3」でご使用ください。
	GOPフレーム数	GOP (Group of Picture) のフレーム数を指定します。 通常は「15」でご使用ください。
オーディオビットレート	128Kbps	MPEGオーディオを128Kbpsで保存します。
	224Kbps	MPEGオーディオを224Kbpsで保存します。(既定値)
	384Kbps	MPEGオーディオを384Kbpsで保存します。
HHRフィルタリング		映像にスムージング処理を施します。
AV分割		MPEGビデオ / MPEGオーディオを分割します。

「標準設定」ボタンを押すと、標準設定画面が表示されます。(前ページ参照)

ハードウェア仕様

機種名	LVC - MPEG2 / P		
バスタイプ	PCIバス (Rev 2.1 以降)		
TV信号	NTSC		
対応チャンネル	VHF : 1 ~ 12 ch UHF : 13 ~ 62 ch CATV : 1 ~ 113 ch		
映像信号入力	コンポジットビデオ / Sビデオ		
音声信号入力	音声多重 / ステレオ		
コネクタ形状	TVアンテナ	: F型 コネクタ	
	ビデオ入力	: RCA ピンジャック	
	Sビデオ入力	: ミニ Din 4 ピン	
	オーディオ入力	: ステレオミニジャック	
	ビデオ出力	: 専用ジャック (Sビデオコネクタ拡張)	
	オーディオ出力	: ステレオミニジャック	
キャプチャサイズ	704 × 480 ドット (最大)		
フレームレート	29.97 fps		
ビデオビットレート	MPEG 2 (CBR)	2 Mbps ~ 15 Mbps	
	MPEG 2 (VBR)	2 Mbps ~ 10 Mbps	
	MPEG 1	1 Mbps ~ 1.15 Mbps	
オーディオビットレート	128 Kbps、224Kbps、384 Kbps		
環境条件 *1	動作時		
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
外形寸法	縦 × 横	111.0 × 176.5 mm *2	
質量		221.2 g	

*1 ただし結露なきこと。

*2 スロットカバーを除く

Memo



<http://www.logitech.co.jp/>